

## 甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成31年2月22日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（9名）

委員長	清水正二君	副委員長	五味武彦君
	伊藤毅君		金丸幸司君
	滝川美幸君		松井豊君
	有泉庸一郎君		内藤久歳君
	藤原正夫君		

議長	長谷部集君	副議長	小澤重則君
----	-------	-----	-------

### 欠席委員（なし）

### 傍聴議員（1名）

齊藤芳夫君

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	輿石文明
書記	小澤裕一	書記	中込美智子

### 議題

- 1 市民と議会の対話集会参加者（市民）アンケート集計結果について
- 2 今後の進め方について
  - 1）対話集会及び市民アンケートを踏まえた議員の意見聴取について
  - 2）議員の活動日数調査について
  - 3）その他

### 3 その他

開会 午後 1時30分

○書記（輿石文明君） 改めましてこんにちは。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、清水委員長、お願いいたします。

○委員長（清水正二君） こんにちは。

議会前のご参集、ご苦労さまでございます。

本当に、ここへ来て急に春めき立ってきましたけれども、温度差の変化が激しくて体調管理がえらいかと思えますけれども、ぜひ健康管理には気をつけていただきたいと思えます。

先般の対話集会の、いろいろな形で検討してまいりたいと思えますので、ご協力をお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、長谷部議長、お願いいたします。

○議長（長谷部 集君） 改めましてこんにちは。ご参集大変お疲れさまです。

また、過日行われました対話集会、先ほど委員長の話にもありましたけれども、本当にありがとうございます。ご協力いただきまして、無事に終わることができました。

これで、いろいろな市民との意見聴取等も終わったようでありますので、今後は改めて、皆様の意見をまたまとめていくという作業がございます。予定の中では、5月にはパブリックコメントなんていう予定にもなっておりますので、ここ2カ月余りでまとめていかなければいけない状況になると思えますけれども、またご協力をよろしくお願いいたしまして、挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては清水委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） ただいまの出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

なお、金丸委員につきましては遅刻の連絡がありましたので、報告をいたします。

本日の会議を開きます。

○委員長（清水正二君） それでは内容に入ります。

内容、（１）の市民と議会の対話集会参加者アンケート集計結果についてを議題といたします。

初めに、事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） それでは、お手元のアンケート集計結果、こちらになりますけれども、お願いいたします。

市民と議会の対話集会参加者アンケート集計結果について、ご説明いたします。

まず、当日の参加者数ですけれども、市民の方99名の参加がございました。このうち、自治会長さんにつきましては26人の出席がございました。

それでは、アンケート集計結果のほう、説明をさせていただきます。

まず、1ページをお願いいたします。

設問1の性別から設問3のお住まいの地域までにつきましては、記載のとおりでございます。右側に、前回の議員研修会の際のアンケート結果が記載をしておりますので、比較等お願いいたします。

次に、設問4、市議会議員の定数について、「22人だと知っている」が88人、「知らない」が4人ございました。

次に、設問5、議員定数を決める考え方について、回答の多い順で言いますと、「人口規模」、「財政状況」、「近隣市の比較」の順となっております。また、その他の回答につきましては、下のほうに記載がしてございます。1から7番まででございます。

2ページをお願いいたします。

設問6、今後の議員定数について、回答の多い順では、「現在のままでよい」、「現在より減らすべき」、「現在よりふやすべき」の順でございました。また、増員、減員した場合の議員定数の人数ですけれども、「20人とすべき」が最も多い回答でございました。

次に、設問7、上記6で回答した理由につきましては、2ページから4ページに記載がしてございます。

次に、5ページをお願いいたします。

設問8、議員報酬について、回答の多い順では「適当である」、「増額すべき」、「わからない」、「減額すべき」の順でございました。また、報酬を増額、減額した場合の金額に

についての回答では、「40万円」「50万円」の回答が多くありました。

次に、設問9、上記8で回答した理由について、回答の多い順では「責任、活動に対して少ないと感じる」、「その他」、「なり手不足解消のため増額すべき」、「わからない」、「活動に対して多いと感じる」の順でございました。その他の回答のつきましては、資料の5ページ、6ページのとおりでございます。

6ページをお願いいたします。

設問10、意見交換会の感想については、「満足」「普通」が上位となりました。

資料の7ページ、8ページにつきましては、その他ご意見、ご要望、ご感想などを記載してございます。

アンケートの集計結果につきましては以上であります。また、A3版で全回答者の一覧表が、配付してありますので、ご確認のほうをお願いいたします。

また、別添で2件、市民の方からの意見のほうを配付してございます。斉藤様からのメールにつきましては、2月6日に受け付けを行いまして、2月7日の対話集会の際に全議員へ写しを配付をしております。また、大泉様の手紙による意見につきましては、2月15日に受け付けを行いましたので、こちらも全議員へ写しのほうを配付したいと考えております。

意見の内容等につきましては、各自ご確認のほうをお願いをしたいと思います。

説明は以上でございます。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

市民からの2件の文書による意見については、全議員に写しを配付するというので、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにいたします。

そのほか、不明な点などご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） これについてはどんな対応をするのかという、写しを配って終わりなのか、これに対して議会としての何らかの回答をするのかという、その辺のところは、検討する、協議をするという部分は、委員長どういう考えですか。

〔「委員長」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 皆さんにご協議いただくところですけれども、斉藤様につきましては

メールアドレスを承知してございますので、返信のほうは可能でございます。また、大泉様のほうにつきましては、住所等記載がございませんので、個別に回答というのはちょっと難しいかなというところがございます。

ですので、対話集会の当日、市民の方からご意見をいただいた同じ扱いでよかろうと思っておりますので、またご協議のほうお願いいたします。

○委員長（清水正二君） 事務局からの説明でよろしいですか。

○委員（内藤久歳君） はい。

○委員長（清水正二君） そのほか、例えばアンケート結果について何かご意見ありますか。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） メールで来たものは、一緒にやっぱりほかの議員にも配ってもらえるんですね。全員ですね。この2通についても。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 7日の対話集会の際に、斉藤様の分につきましては配付がしてございます。もう1人の方については15日に受け付けをしましたので、これから配付という形になります。

○委員長（清水正二君） ほかにございますか。

興石係長。

○書記（興石文明君） 追加ですけれども、斉藤様のメールにつきましては、受信した際に、先方に「議長と議会改革特別委員会のほうで報告をさせていただきます。」という内容で、メールを返信してございます。本来ですと報告してから扱いをどうするか決めて、全議員にお配りしろということであればそういう流れだったんですけれども、当日の参考になればということで、事前に配付がしてありますが、配付をすることに決定したという扱いでお願いいたします。

○委員長（清水正二君） 五味副委員長。

○委員（五味武彦君） ということは、このアンケート結果には入っていないよね、この2人は。そういうことだね、別扱いということで。

○委員長（清水正二君） 興石書記。

○書記（興石文明君） アンケートのほうにはコメント等入っておりませんので、別扱いになります。

○委員長（清水正二君） ほかにご意見等ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） アンケートについての意見がこれ以上ないようですので、アンケート結果や市民の意見については各自で分析等していただきまして、基礎資料として活用していただき、今後の議論を進めたいと思います。よろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） それでは以上で、市民と議会の対話集会参加者アンケート集計結果についてを終わります。

次に、（２）今後の進め方についてを議題といたします。

初めに、１、対話集会及び市民アンケートを踏まえた議員の意見聴取についてを協議いたします。

方法といたしましては、アンケート調査とするか、全員協議会で全議員の意見を聞くか、そういった形の中でどなたかご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） アンケートなんていうことじゃなくて、やっぱり全員協議会を開いて、時間がかかり過ぎているんだよね、これ自体も、この改革のやつも。今までの、こういうことをアンケートとったり何かすることも必要だったんでしょうけれども、ただ、市民の中からは少し時間もかかり過ぎているんじゃないかみたいな話もありましたので。ぜひ、全員を集めて、20人ぐらいですから、全員協議会を開いてもらって、このメールとかアンケートに対しても個々に聞いたほうがいいと、僕は思いますけれども。

○委員長（清水正二君） そのほかにご意見ございますか。

今、お諮りしているのは、このアンケート結果を踏まえた中で、やはり議員のそういった意識調査といいますか、そういったものを全員協議会を開いてやるか、またアンケートをとってやるかということでございますので。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 私も、今の有泉委員の意見と同様で、アンケートを何回とったところでどうなるものでもない、結論を出さなきゃいけないわけですから、全員協議会できちっと自分の言葉で、議員一人一人が発言することが大事だと思います。

○委員長（清水正二君） 今のところ、全員協議会を開いてという意見が多いようですが、よろしいですか。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 全員協議会を開くということは、もう全て結論的なものを出すという考え方でいいですか。それとも、アンケートの中身を調査をやるのか、それとも今後どうするかと、そこまで詰めておかないと、全員協議会をやる必要もないと思うんですよ。アンケートの中身だけではね。

○委員長（清水正二君） 日程的にも、こういった形の中で、もう各議員の意見を聞いて報告書に向けて結論づけていきたいという形になるかと思いますが。

○委員（五味武彦君） そういうことですよ。結論めいたものを出すということ。

○委員長（清水正二君） ほかにご意見がなければ、先ほどご意見がございました全員協議会を開いて、議員の意見を聞くという形で進めたいと思いますがよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのように進めます。

次に、2の、議員活動日数調査についてを協議いたします。

これは、対話集会のときに、議員がどのぐらい活動しているのかということで資料等にありまして、その説明をした際に各個人ばらつきがありますので調査するというところで、私のほうでその発言に対して私の見解を述べた経緯がございまして、どういう形であるかということですが、1つには、議会の1回から4回までが1年、1月から12月までですね。年度でいくと、4月から3月までという形になるんですが、前回の対話集会のときの資料は、1月から12月までの日数を示してありました。その中ですと、新人議員が4月からですので、当然日数的にばらつきが来るかなと思うんですけれども。

ちょうど報告書をつくるまでには期間的なものもありますし、調査表を配っても、多分回収は皆さんのほうでつけていただければ、そんなに時間かからないと思いますので、私としてはできれば3月。4月から新しく議員になった方たちに合わせて、その活動日数というのをしたほうが、例えば活動日数の報告をつくるにしても、最大が何日、少ないのは何日、平均が何日ですよという形でよろしいかと思うんですけれども。

5月から4月になるんですか。

〔「任期5月」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ああ、任期がね。じゃ、5月1日からということですね。一応、それをそろえるので、5月から、今の時点ですと3月議会が終わったところという形になるかかと、3月いっぱいということになりますけれども。

ちょっと休憩とります。

休憩 午後 1時48分

再開 午後 1時56分

○委員長（清水正二君） それでは、会議を再開いたします。

議員の活動日数調査ということで、次回にその調査表をお配りして検討していただきたいと思っておりますので、そういう形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。それでは、そのようにしたいと思います。

次に、3の、今後の進め方についてのその他ですが、どなたかご意見ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） もちろん、定数と報酬のことはきちんと文面で表記しなければならないんですが、あと研修やなんかで気になったのは、やっぱり議会基本条例をどうするかという問題もあると思うんです。定数や報酬についても、やっぱりその中の項目としてある程度定義づけをしていく必要もあるし、そんなこんなを含めて議会基本条例を作る方向を検討して、結論というか何というか、文言で表現していく必要があるのかなど。

○委員長（清水正二君） 松井委員、今回のこの1年間の我々の検討する項目というのを、最初お集まりいただいたときに決めました。その形で、今回は議員定数と報酬ということでもってやっております。これが済んだら、そういったまた次年度の中の我々の協議内容を決めていきたいと思っております。当然、その中にもそういったものが入ってこようかと思っておりますので、その時点で、今ここでそれとまたというわけにはいきませんので、そういう形でよろしいですか。

○委員（松井 豊君） はい、了解。

○委員長（清水正二君） ほかに。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） これ、まだ小澤書記と話ししていない部分なんだけれども、4月25日発行の、議会だよりが出てきます。その中の1ページとる予定だったかな、この対話集会のことを。いずれ、各号に特別委員会の流れを書いてあるわけですよ、毎回。今回は、市民対話集会ということをやったわけだから、それを少し大々的にやろうかなというふうには思

っているんですよ。当然、写真も撮ってあるし、どういう方々がどういうアンケートの結果を出したのかということを一応1ページで、一応編集委員会がありますので、そのときに出そうかと思っているんですが、その方向でいいのかどうか、事前に。

[発言する者あり]

○委員（五味武彦君） 向こうで決めることだけれども。一応そんなこと、考えもあるということにしておきましょうか。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 当然、対話集会を開催しましたという報告と、あとパブリックコメントを実施しますというのを次号で掲載するようになろうかと思えます。ページの割り振りについてはまた、議会広報常任委員会で協議しながら決定していきたいと思えます。

以上です。

○委員長（清水正二君） ただいまの五味副委員長の中で、議会広報常任委員会のほうに、この議会改革として、もしこういったことというふうな申し入れがあれば、皆さん。

○委員（五味武彦君） そうだね。そういう方法ならいいかもしれないね、もし要望があれば。

○委員長（清水正二君） その件に関しては、会派で広報の委員がおられますので、またその広報の委員のほうに伝えていただくという形でよろしいでしょうか。

[「はい、結構です」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） そのほか、ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） それでは、スケジュールに沿った中で、また先ほどのアンケートのお答えにしても、そういう形の中で進めていきたいというふうに思います。

以上で、今後の進め方についてを終わります。

続いて、（3）その他を行います。

まず、次回の開催日ですが、いかがいたしましょうか。日程的に何かありますか。

興石係長。

○書記（興石文明君） 先ほど、全員協議会でというような話も出ておりますので、定例会中に日を設けて、全員協議会を開きたいと思えます。

また、3月の下旬には、この特別委員会のほうを開催をしたいと思えますので、また全員協議会の日にちが決まった中で、3月末の特別委員会の日程のほうは決めさせていただきたいと思えます。

以上です。

○委員長（清水正二君） 次回の日程はまた、議長とのすり合わせもありますので、そんな形で連絡させていただくということによろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） そのほか、委員のほうから何かございますか。  
なければ、事務局。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、その他を終了いたします。  
以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。  
これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会いたします。  
ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時02分